

週間漁海況情報 2025年第39号

令和7年9月30日発行

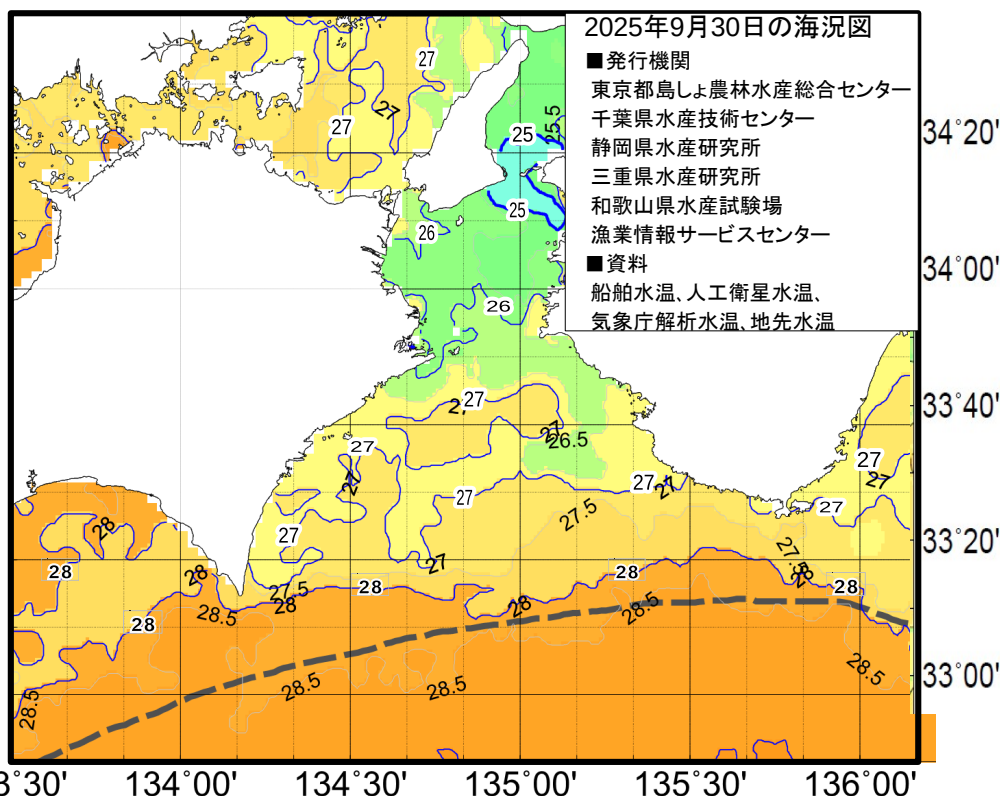
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖25マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「接岸」している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で26～27、紀伊水道で25～26、海部沿岸で26～27℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

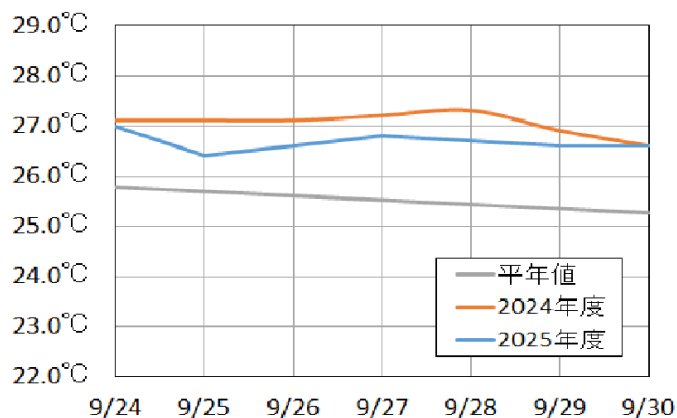
直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

2. 地先水温(9月24日~9月30日 浅川地区は水温計故障のため牟岐地区の水温を用いた。)

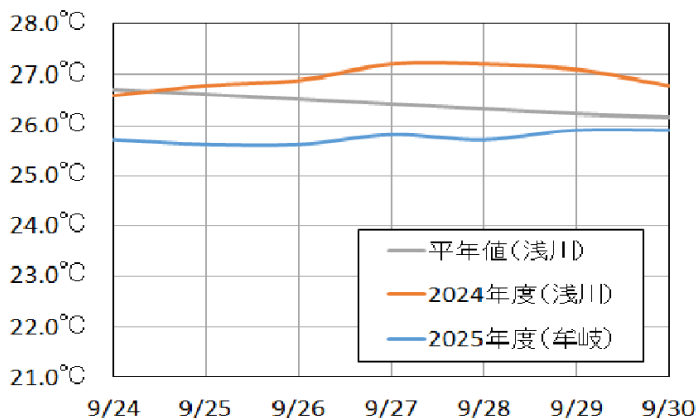
鳴門地区の水温は、27.0~26.4℃で「やや高め」で推移。牟岐地区は、25.6~25.9℃。

鳴門と牟岐地区の水温差は、-1.3~-0.7℃だった。

鳴門地区



牟岐地区(昨年度と平年値は浅川地区)



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月1日~10月7日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「接岸」から「やや離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区で「やや高め」で推移する見込み。

漁況

(9月22日～9月28日)

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

船びき網では、シラスが大きく増えて64.6トン水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に4.3トン、サワラが増えて1.3トン、

あまだい類が0.7トン水揚げされた。

底びき網では、イボダイが大きく減って3.8トン、えそ類が大きく増えて1.7トン、

ハモが減って中主体に1.4トン、かます類が大きく増えて0.3トン、

クマエビが大きく増えて0.3トン、いとより類が大きく増えて0.2トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが豆あじ級主体に3.4トン、マルアジが小主体に0.9トン、

マサバが大きく減って小小主体に0.4トン、カンパチが減って0.2トン水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、キハダが大きく増えて1.2トン水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	100	シラス	64,575	646		↗↗
	延縄	52	ハモ	4,341	83	中主体	→
		34	サワラ	1,346	40		↗
		54	あまだい類	744	14		→
	底びき網	27	イボダイ	3,758	139		↘↘
		30	えそ類	1,733	58		↗↗
		24	ハモ	1,391	58	中主体	↘
		22	かます類	307	14		↗↗
		21	クマエビ	276	13		↗↗
		18	いとより類	223	12		↗↗
	小型定置網	19	マアジ	3,408	179	豆あじ級主体	→
		19	マルアジ	892	47	小主体	→
		14	マサバ	434	31	小小主体	↘↘
		16	カンパチ	200	13		↘
沿岸部	釣り	12	キハダ	1,220	102		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘